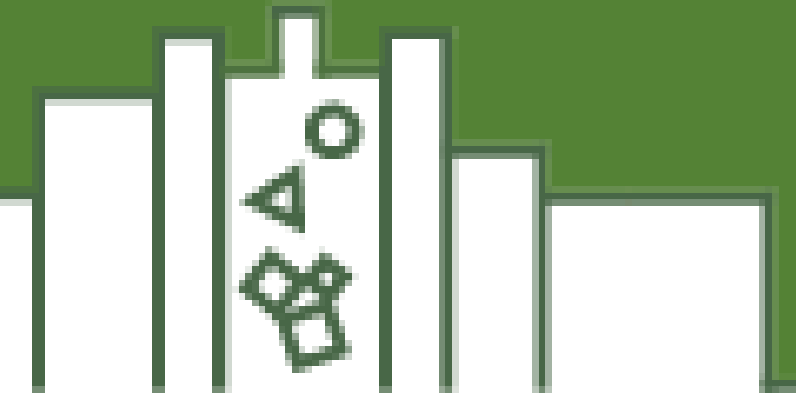


地域への発信 — 『筑駒人材バンク』 を生かした地域貢献 —

附属駒場中学校・高等学校 地域貢献プロジェクトチーム

代表者：大野 新 (附属駒場中学校・副校長)



概要

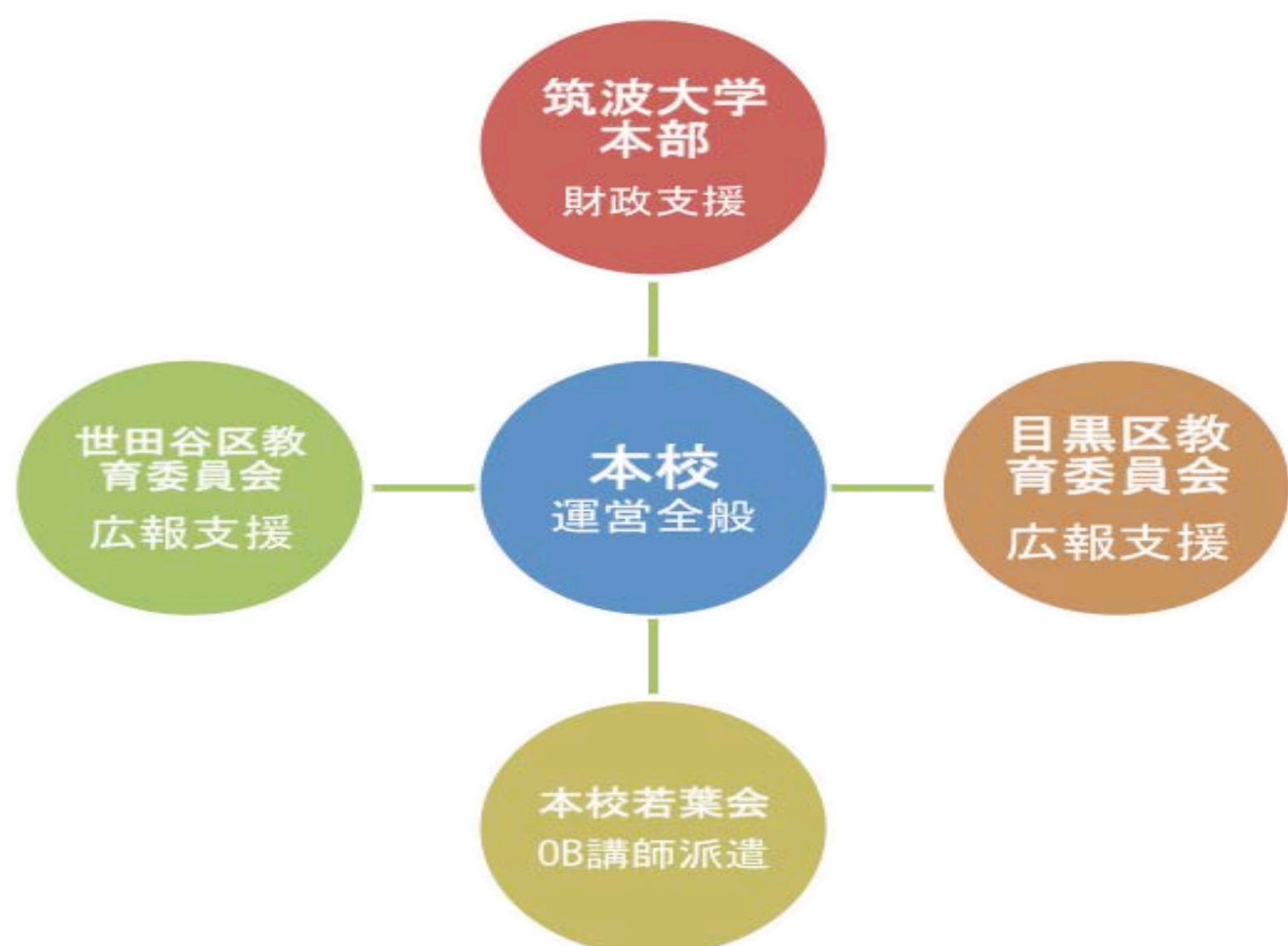
目的

附属学校として60余年培った学校文化
→ 本校関係者による公開講座などの形で
地元(世田谷区・目黒区)へ恩返しする

経緯

2007年「筑駒人材バンク」発足、社会貢献プロジェクト採択、以来7年連続で実施

実施体制・地方自治体との連携



支援・共催・後援団体

- 本学(社会貢献プロジェクト、附属学校教育局)
- 地元区教委(世田谷区教委、目黒区教委)
- 本校同窓会・若葉会(人材バンク事業委員会)

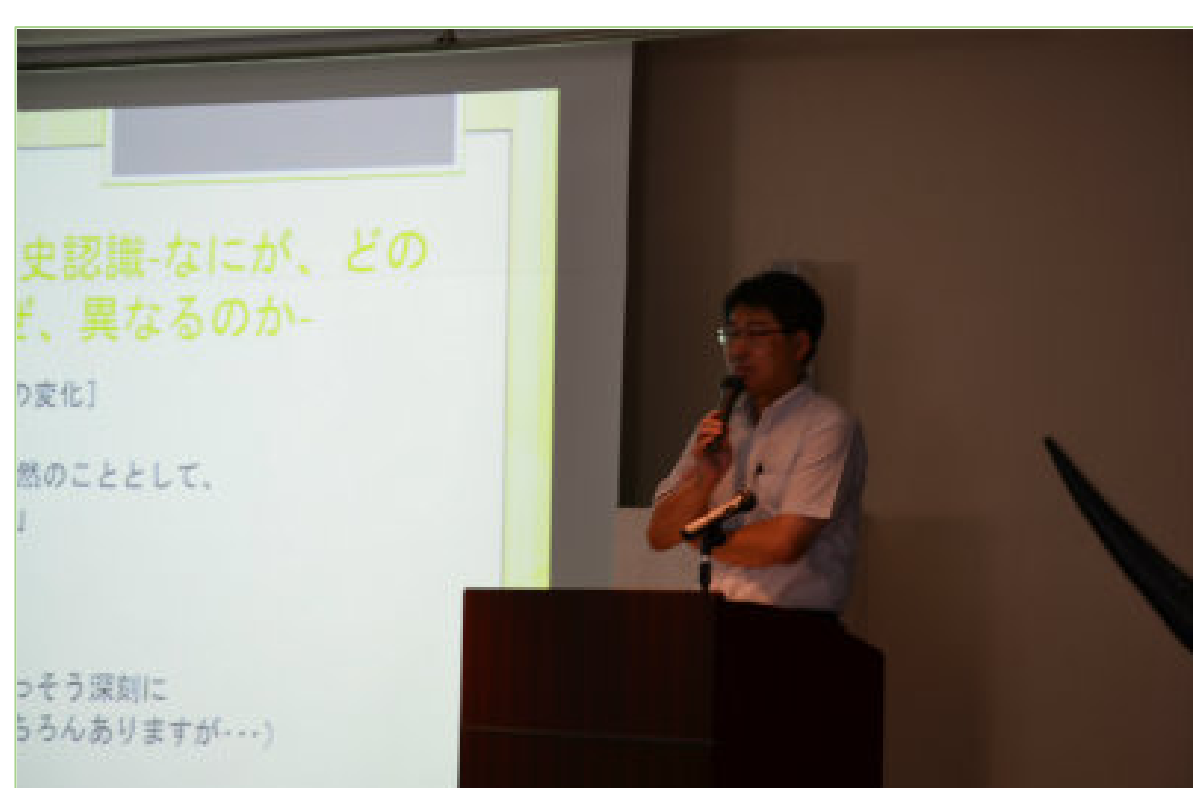
実施内容

公開講演会：講師...本学教員、本校卒業生

A 2013年9月14日実施

東京大学准教授 川島真氏 (本校卒業生)

「日本と中国、そして台湾 —歴史から見る
現在・未来」



B 2013年12月14日

筑波大学教授 鈴木石根氏

「藻から燃料をつくる —微細藻類を活用
したバイオマス生産への取り組み—」



公開講座：講師...本校教員・生徒

2014年3月29日実施、11講座を開講



いろいろな多面体をつくろう



点と線で生物を描く



筑駒LBC(3・1・2弁当箱法実習) 化石のレプリカをつくろう



参加者数

公開講演会...205名(AB合計)

公開講座... 216名

◎リピーターの増加 ← 地元への定着

展望・今後の課題

- 継続実施の強い要望(受講者アンケート・行政)
→ 財源の確保が急がれる
- 生徒が講師役 = 生徒の「学びの場」に
→ さらなる拡充も視野に入れたい